

課題と将来像を踏まえた取組方針

		将来像 1			将来像 2			将来像 3	
		便利で使いやすい移動手段の実現			市民・事業者・行政の共創の実現			持続可能な交通手段の実現	
		日常の移動が しやすくなる	お出かけが しやすくなる	地域が活性化する	環境負荷の少ない 交通手段が広 がる	災害に強い 交通体系	情報が共有され、 連携・協働の 体制が確立する	市民が自ら考え 行動変容し、責任 をもって利用する	各移動手段が 最適化されている
課題 1	公共交通の維持・確保								
課題 2	移動の利便性向上								
課題 3	地域の特性に即した対応								
課題 4	交通弱者への対応								
課題 5	災害リスクへの対応 環境負荷の軽減								

取組方針

基幹的公共交通

1. 基幹的な役割を果たす公共交通の利便性の維持・向上

多様な移動サービス

2. 相互に補完する多様な移動サービスの展開

分担・連携

3. 基幹的公共交通と多様な移動サービスとの役割分担、連携

まちの整備

4. 安心・安全で快適に移動できるまちの整備

啓発・情報発信

5. 市民や利用者の関心を高め、理解を深める啓発・情報発信

仕組みづくり

6. 多様な主体が横断的に連携・協働し、効果的に力を発揮できる仕組みづくり

取組の例

・路線バスの定時性、速達性の向上

・環境負荷の少ない車両の導入

・災害時のレジリエンスの向上

・自動運転技術の導入検討

など

・コミュニティバスやグリスロなど、地域の実情に即したモードの導入

・タクシーの利用環境整備

・シェアサイクルの利用促進

・ライドシェアの普及、利用促進

など

・移動手段ごとの役割の明確化

・結節を意識したルートやダイヤの設定

・鉄道駅における案内板の設置

・モビリティハブ

など

・公共交通の利用につながるまちの整備

・鉄道駅周辺の魅力向上、活性化

・定時性の確保ができる環境の整備（渋滞解消など）

・自転車の利用環境整備

など

・情報発信の強化

・利用者が使いやすい情報提供の推進

・心のバリアフリーの啓発

・市民の利用体験機会の創出

など

・取組を推進する基準や枠組みの構築

・交通事業者や市民団体、企業と連携

・近隣市区町村との連携、協働

・災害時の連携強化

など

課題と将来像を踏まえた取組方針

		将来像 1			将来像 2			将来像 3	
		便利で使いやすい移動手段の実現			市民・事業者・行政の共創の実現			持続可能な交通手段の実現	
		日常の移動が しやすくなる	お出かけが しやすくなる	地域が活性化する	環境負荷の少ない 交通手段が広がる	災害に強い 交通体系	情報が共有され、 連携・協働の 体制が確立する	市民が自ら考え 行動変容し、責任 をもって利用する	各移動手段が 最適化されている
課題 1	公共交通の維持・確保	●公共交通の利便性の維持・向上 ●地域の実情に即したモードの導入 ●自転車の利用環境	●路線バスの定時性、速達性の向上 ●タクシーの利用環境整備 ●定時性の確保ができる環境の整備	●自動運転技術の導入検討 ●鉄道駅周辺の魅力向上、活性化	●環境負荷の少ない車両の導入	●災害時のレジリエンスの向上	●移動手段ごとの役割の明確化	●地域の実情に即したモードの導入 ●利用者が使いやすい情報提供の推進 ●取組を推進する基準や枠組みの構築	●自動運転技術の導入検討
課題 2	移動の利便性向上	●公共交通の利便性の維持・向上 ●タクシーの利用環境整備 ●鉄道駅における案内板の設置 ●自転車の利用環境 ●近隣市区町村との連携、協働	●路線バスの定時性、速達性の向上 ●シェアサイクルの利用促進 ●結節を意識したルートやダイヤの設定 ●定時性の確保ができる環境の整備 ●取組を推進する基準や枠組みの構築	●自動運転技術の導入検討 ●地域の実情に即したモードの導入 ●モビリティハブ ●鉄道駅周辺の魅力向上、活性化 ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●環境負荷の少ない車両の導入 ●シェアサイクルの利用促進 ●移動手段ごとの役割の明確化 ●（EV自動車の充電設備の充実） ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●災害時のレジリエンスの向上 ●シェアサイクルの利用促進 ●移動手段ごとの役割の明確化 ●（道路ネットワークの形成、補助幹線道路の整備※都市マスP61） ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●移動手段ごとの役割の明確化	●地域の実情に即したモードの導入 ●利用者が使いやすい情報提供の推進 ●取組を推進する基準や枠組みの構築	●自動運転技術の導入検討 ●タクシーの利用環境整備 ●結節を意識したルートやダイヤの設定
課題 3	地域の特性に即した対応	●公共交通の利便性の維持・向上 ●タクシーの利用環境整備 ●移動手段ごとの役割の明確化 ●自転車の利用環境整備 ●情報発信の強化 ●近隣市区町村との連携、協働	●路線バスの定時性、速達性の向上 ●シェアサイクルの利用促進 ●結節を意識したルートやダイヤの設定 ●定時性の確保ができる環境の整備 ●情報発信の強化 ●取組を推進する基準や枠組みの構築	●自動運転技術の導入検討 ●地域の実情に即したモードの導入 ●モビリティハブ ●鉄道駅周辺の魅力向上、活性化 ●情報発信の強化 ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●環境負荷の少ない車両の導入 ●シェアサイクルの利用促進 ●移動手段ごとの役割の明確化 ●（EV自動車の充電設備の充実） ●情報発信の強化 ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●災害時のレジリエンスの向上 ●シェアサイクルの利用促進 ●移動手段ごとの役割の明確化 ●（道路ネットワークの形成、補助幹線道路の整備※都市マスP61） ●情報発信の強化 ●災害時の連携強化	●結節を意識したルートやダイヤの設定 ●情報発信の強化	●地域の実情に即したモードの導入 ●市民の利用体験機会の創出 ●取組を推進する基準や枠組みの構築	●自動運転技術の導入検討 ●ライドシェアの普及、利用促進 ●結節を意識したルートやダイヤの設定 ●取組を推進する基準や枠組みの構築
課題 4	交通弱者への対応	●タクシーの利用環境整備 ●（生活道路等の安全性※都市マスP59） ●情報発信の強化	●地域の実情に即したモードの導入 ●利用者が使いやすい情報提供の推進	●公共交通の利用につながるまちの整備			●地域の実情に即したモードの導入 ●移動手段ごとの役割の明確化 ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●心のバリアフリーの啓発	●地域の実情に即したモードの導入
課題 5	災害リスクへの対応 環境負荷の軽減				●環境負荷の少ない車両の導入 ●（個別交通の強化） ●（EV自動車の充電設備の充実） ●情報発信の強化 ●交通事業者や市民団体、企業と連携	●災害時のレジリエンスの向上 ●（個別交通の強化） ●鉄道駅における案内板の設置 ●（緊急輸送道路の整備※都市マスP61） ●情報発信の強化 ●災害時の連携強化 （自主防災組織の結成率の向上※都市マスP64）		●情報発信の強化	

・路線バスの定時性、速達性の向上 ・環境負荷の少ない車両の導入 ・タクシーの利用環境整備 ・自動運転技術の導入検討 など	・コミュニティバスやグリスロなど、 地域の実情に即したモードの導入 ・タクシーの利用環境整備 ・シェアサイクルの利用促進 ・ライドシェアの普及、利用促進 など	・移動手段ごとの役割の明確化 ・結節を意識したルートやダイヤの 設定 ・鉄道駅における案内板の設置 ・モビリティハブ など	・公共交通の利用につながるまちの 整備 ・鉄道駅周辺の魅力向上、活性化 ・定時性の確保ができる環境の整備 （渋滞解消など） ・自転車の利用環境整備 など	・情報発信の強化 ・利用者が使いやすい情報提供の 推進 ・心のバリアフリーの啓発 ・市民の利用体験機会の創出 など	・取組を推進する基準や枠組みの 構築 ・交通事業者や市民団体、企業と 連携 ・近隣市区町村との連携、協働 ・災害時の連携強化 など
--	--	--	--	--	---